

令和7年度第1回青梅市こども・子育て会議 会議録

会議の概要

開催日時		令和7年4月21日（月）
開催場所		青梅市役所災害対策本部室
出席者	委員	坂井隆之（明星大学特任教授） 有村久春（東京聖栄大学教授） 中村明子（市民委員） 西村美紀（市民委員） 黒田英寿（学校法人和風会多摩リハビリテーション学院専門学校事務長） 高木博康（青梅市保育園理事長会副会長） 藤野唯基（駒木野保育園園長） 横山牧人（青梅幼稚園園長） 松井良（青梅市立第五小学校校長） 空野竜雄（青梅市放課後児童健全育成事業者連絡会会長） 島田弘美（青梅市子ども関連 NPO 団体連絡協議会会長） 大野葉子（青梅市民生児童委員合同協議会理事）
	事務局	大勢待（市長） 青木（こども家庭部長） 濱野（子育て応援課長） 茂木（こども育成課長） 中村（こども家庭センター所長） 江川（こども家庭部主幹） 岡崎（子育て応援課子育て推進係長） 竹中（こども育成課保育・幼稚園係長） 飯島（子育て応援課子育て推進係）
欠席委員		池田政教（青梅商工会議所専務理事）
議事		○ 諮問 （1）特定教育・保育施設の利用定員の設定について（諮問） ○ 報告事項 （1）青梅市こども・子育て会議条例について （2）青梅市こども計画について （3）その他 ○ 協議事項 （1）特定教育・保育施設の利用定員の設定について （2）青梅市地域共生社会推進審議会委員の選出について （3）青梅市こども基本条例（仮）について （4）その他
傍聴人数		2人

配布資料	資料1 令和7年度青梅市こども・子育て会議委員名簿
	資料2 特定教育・保育施設の利用定員の設定について（諮問）
	資料3 青梅市こども・子育て会議条例
	資料4 青梅市こども計画（本編・概要版・こども版）
	資料5 青梅市地域共生社会推進審議会委員の選出について
	資料6 青梅市こども基本条例（仮）について

議事要旨（口述筆記ではなく、発言の趣旨および会議の経過をまとめたものである。）

発言者	発言要旨等
事務局	令和7年度第1回青梅市こども・子育て会議を始める。本日の司会進行を勤める子育て応援課長の濱野です。（会議の成立について報告） （ZOOM参加、録音について報告）
事務局	市長より各委員に委嘱上の交付を行う。
市長	（挨拶）
事務局	配布資料の確認を子育て推進係長より行う。
各委員	自己紹介
委員	会長、副会長の推薦、委任
会長	（挨拶）
事務局	（諮問）
事務局	大勢待市長はこの後別の公務があるのでここで退席する。 以降の議事進行に関しては、会長にお願いします。
会長	次第に沿って進める。 次第7 報告事項（1）青梅市こども・子育て会議条例について、事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料3にもとづき「青梅市こども・子育て会議条例」について説明を行う。）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
会長	次に、次第7 報告事項（2）青梅市こども計画について、事務局の説明をお願いします。
事務局	（資料4に基づき「青梅市こども計画」について説明を行う。）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
会長	意見を出してくれた人へ個別にフィードバックはしているのか。
事務局	個別のフィードバックは出来ていないが、アンケート調査結果については、調査報告書で報告している。
委員	概要版の3ページの生産年齢人口が減っているのに合計特殊出生率の減少率がマイナスなのは、減少しているということか。
事務局	減少しているということである。
委員	こども計画の周知を徹底してほしい。実行計画等は策定するのか。
事務局	市民への周知は行っていきたい。実行計画等は考えていない。
会長	次に、次第7 報告事項（3）その他について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（今年度の新規事業、拡充事業について各課長より説明を行う。）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。

委員	育児支援ヘルパー事業のヘルパーはどんな方なのか。また、こどもを預けるわけではなく、こどもと保護者が一緒の状態で支援を受けるのか。
事務局	研修を受けた子育て経験者の方がヘルパーとして利用者の自宅に伺う。こどもと保護者が同席した状態で利用してもらう。
委員	育児支援ヘルパーやファミリー・サポート・センター事業の需用と供給のバランスは同なのか。また、人員の確保をお願いしたい。
事務局	ファミリーサポートは、提供会員と利用会員がマッチングをして利用することができる。育児支援ヘルパーについてはマッチング等はない。こどもの預かりについては、青梅市では保育園での一時預かりがある。
委員	産後ケアの延長と費用の援助について具体的に聞きたい。
事務局	4月からの改正で、日帰り型・宿泊型は産後4か月から6か月に拡大。日帰り型は、5回目まで無料、6回目以降2,500円に減額した。
委員	産後ケア事業について、青梅総合病院での宿泊は1泊3,000円で利用できると聞いたが、それも市の事業に入っているのか。また、総合病院の看護師が利用者が少ないのはいいことだが、あまりに少ないと事業がなくなってしまうという不安もあるが、周知はしているのか。
事務局	1泊2日で3,500円で利用できる。周知については力を入れてやっていきたい。
委員	行政施策をやっているという感じがする。教育の視点からすると、こどもたちの自立性や自発性を引き出すことが大事である。こどもたちの意欲を引き出すシンポジウム等を企画したことはあるのか。また、小中学校のカリキュラムにアクセスして行政と関わりを持っていないのか。
事務局	周知についてはとても大切だと考えている。子育て支援ガイドや子育てアプリを活用して周知を図っているところである。
委員	移住者が青梅市に来てくれているということは、青梅市に何かしらの魅力を感じてもらえていると思う。令和7年度は、新しい施策や拡充される施策があるので、それらを他市と比較、発信することで新たな魅力づくりにもなると思う。
事務局	青梅市シティプロモーション課が移住定住の促進やイメージアップにつながるような活動をしている。今後は、シティプロモーション課と情報共有をしながら青梅市の強みについて発信していく必要があると考える。
委員	移住コンシェルジュをやったことがあるが、若い世代の方が青梅市に興味を持っている印象があった。
事務局	青梅市こども計画に沿って、移住定住を呼び込むことは続けていきたい。
委員	産後ケア事業や育児支援ヘルパー事業で拡充があったが、需用と供給の実態を把握できているのか。また、サービスを利用するためにどのような支援をしていくのか。
事務局	現状は利用したい人は利用出来ている。今後も情報を収集しながら、事業については検証していきたい。他サービスについては、こども計画にもとづいて検討していくことになると思う。
委員	サービスを利用したいけど、自分が対象なのか分からないという声があったので、周知をもっとしてほしい。また、出産後1歳の時に援助がもらえる制度も手紙が届いただけで、詐欺と勘違いしたという声もあったので、市のアピールをもっとしてほしい。
事務局	検討する。

委員	施策の原資については明言すべきだと思う。また、周知については市内だけでなく、対外的にも行う必要があると思う。さらに、東京都が保育園と小学校のカリキュラムの連携を推進しているので、それについても周知が必要だと思う。
事務局	検討する。
委員	産後ケア事業を無料または安価で利用できるようにすると需用はすごく増えると思う。その場合、供給先はどう確保するのか。
事務局	市内、市外を含めて委託契約先は開拓を続けていきたいと考えている。
委員	1歳未満の支援はいくつかあるが、兄弟が多い家庭などに対する支援が少ないように感じるので、もっとフットワークの軽い支援が必要だと思う。
事務局	0から3歳児の支援については充実していると考えている。4歳以上の支援については様々な意見を取り入れながら改善したいと思う。
委員	現状、保育園は7時から預けられるのに対し、小学校は8時15分からしか登校出来ない。そこに保育園と小学校の格差を感じる。その繋がりがあるような支援がほしい。また、青梅市の子育てを良くしていくという意味では、学校と市の連携は必要だと思う。
事務局	教育委員会と連携して、課題については検討していきたい。
委員	周知について、広報ではこどもに呼びかけるような記事は目にするが、大人にも呼びかけるような記事を出した方がいいと思う。
事務局	大人の理解がないと出来ないことも多くあるので、大人に向けた周知も引き続き行っていきたいと思う。
委員	青梅市こども計画のこども版は、こどもたちの手に触れているか。
事務局	小学校の各クラスに配布している。
会長	次に、次第8 協議事項（1）特定教育・保育施設の利用定員の設定について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料2にもとづき「特定教育・保育施設の利用定員の設定」について説明を行う。）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
委員	質問なし。
会長	次に、次第8 協議事項（2）青梅市地域共生社会推進審議会委員の選出について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料5にもとづき「青梅市地域共生社会推進審議会委員」について説明を行う。）
事務局	（審議会委員の選出を行う。）
会長	次に、次第8 協議事項（3）青梅市こども基本条例（仮）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料6にもとづき「青梅市こども基本条例（仮）」について説明を行う。）
会長	この件について、ご質問・ご意見はあるか。
委員	小中学生のオンライン交流会の中身はなにか。
事務局	企画政策課が中心となってすすめる。議題は青梅市がどうしたら良くなるか等を議論する。オンライン交流会を通じて、こども会議や若者会議等の会議体を構築したいと考えている。
委員	条例の制定について、骨子を作り肉付けしていくのか、計画と紐づけて形を整えていくのか。また、他市の条例はその市の問題を中心に作られているが、青梅市は何を中心に策定していくのか。

事務局	今回はあくまでスケジュール案なので、具体的にはまだ決まっていない。会議等を通じて、より良い条例を制定できるよう検討する。
会長	資料6の世田谷区の子ども基本条例は平成24年改正ではないと思う。
事務局	令和7年改正については確認する。
委員	計画に沿ったデータを収集し、分析することで市の強みや弱みを明確にすることができると思う。
事務局	こども・子育て会議でデータの分析は行っていきたいと考えている。
会長	次に、次第8 協議事項（4）その他について、事務局から何かあるか。
事務局	特になし。
会長	今回は、令和7年7月7日(月)である。 これで令和7年度第1回青梅市こども・子育て会議を閉会する。

会議録を確認したことをここに署名する。

令和     年     月     日